



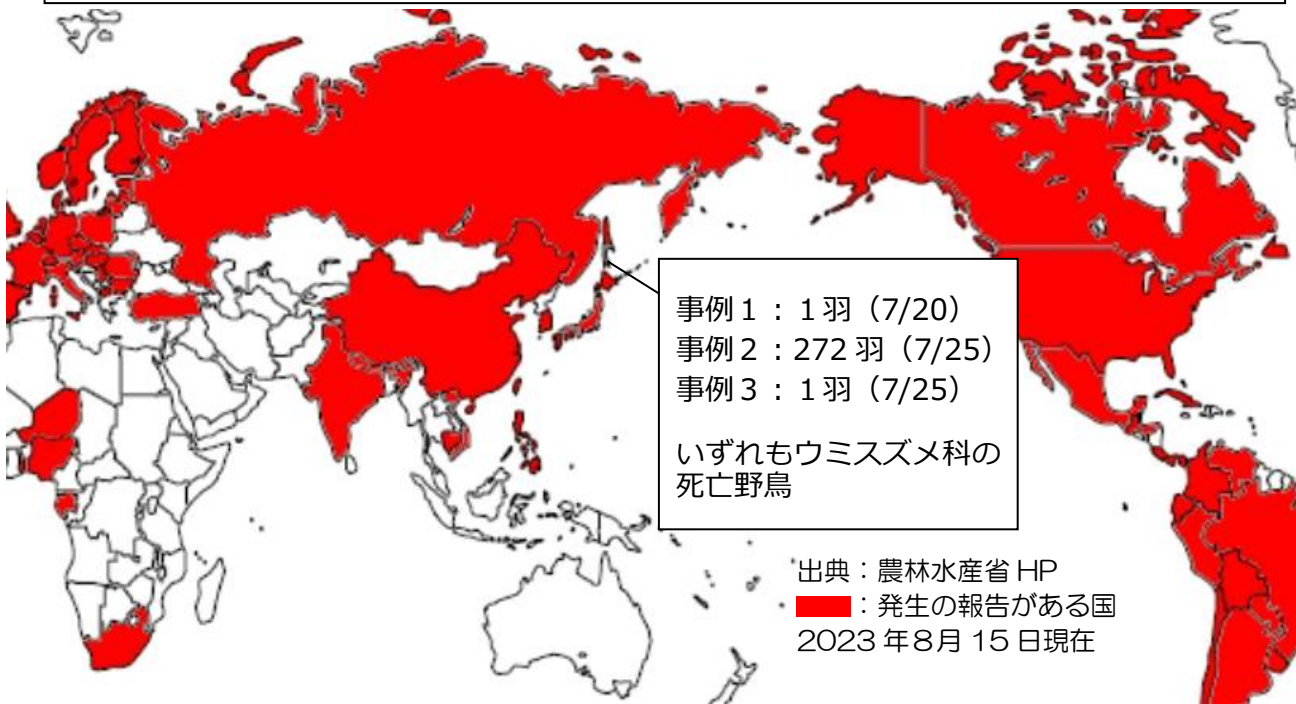
## 家畜衛生情報

### 南樺太の死亡野鳥で 高病原性鳥インフルエンザが確認されました

令和5年8月4日、ロシア家畜衛生当局から南樺太の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）の感染事例が報告されました。

野鳥の専門家によると、南樺太は秋にカモ類が日本へ飛来するルートになるため、この時期に同地域で多数の感染事例が確認されたことは、今後、国内へのウイルス侵入リスクに関する情報として重要との見解です。また、今年7月以降はヨーロッパでも野鳥で多数の感染事例が確認されており、昨シーズンに続き、国内での流行が危惧されます。

#### 高病原性鳥インフルエンザの発生・感染報告状況（2022年9月以降）



昨シーズンは国内でこれまでに最も早く、9月に野鳥で一例目の感染事例が確認されました。10月には家きん農場で一例目が発生し、発生事例数、殺処分羽数とも過去最多の26道県84事例、1,771万羽にのぼりました。

早めに防鳥ネットを点検・修繕する等、発生防止対策に取り組みましょう。

家きんに異状が見つかった場合は、家畜保健衛生所へ連絡してください

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁家畜防疫対策室	026-235-7232